

ペットボトルを使ってオリジナルのランプシェードをつくりみんなで光らせてみよう

ランプシェードをつくらう

作品づくりのオススメポイント

- 軽量の紙粘土を使い、低学年でも手軽で簡単にかわいいランプシェードが出来ます。
- 絵の具を塗ったり、練り込んで色をつける事ができます。
- 完成した作品をみんなで並べて光らせて鑑賞すると、とてもきれいな集合作品になります。

用意するもの



- ずこうねんどつくびた(L)
- ペットボトル
- 粘土板
- ヘラ
- はさみ
- LED ダイアライト
- 伸ばし棒
- クリップ
- おはじき
- ビーズ



1 ペットボトルは500mlの物を1本用意します。

POINT 炭酸飲料などに使われる硬いペットボトルを使用してください。



2 500mlのペットボトルの底面を切ります。

POINT 切りにくい場合はカッターナイフで切り目を入れてからはさみで切ります。



3 伸ばし棒で粘土を薄く伸ばします。

POINT 2~3回伸ばしたら持ち上げ、粘土板にくっかないようにしましょう。



4 薄くした粘土をペットボトル全体にはりつけます。

POINT 粘土とペットボトルの間に隙間ができないようにします。



5 伸ばしたクリップやヘラで穴をあけます。

POINT クリップで穴を開ける場合、2~3回なぞって粘土を切り離しましょう。



6 底面に粘土をつけて伸ばします。

POINT 底面を広げる事でぐらつきがなくなり安定感が出ます。



7 おはじきやビーズをつけて仕上げます。

POINT ビーズなどを埋め込む場合、押し込むだけでなく、ならして取れにくくします。



8 乾燥後、ライトを入れて光らせれば完成です。

POINT 視聴覚室やカーテンのある部屋など暗くできる場所で鑑賞してみましょう。

